

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『いこう』

いこう IKOU!

2022年 春号

第2回
折り句コンテスト
MIKAKO賞受賞作品
(作：みうさん)

あたたかい言葉で
りっはな大人として
成長できるように
スタッフがマナーを教えてくださいました事
とても感謝しています
もううと忘れません 羽

【巻頭特集】

何よりも大切なことは“継続”と“チャレンジ”—サステナブルな障がい者雇用を目指して
マンパワーグループ(株)特例子会社 ジョブサポートパワー(株)
代表取締役社長 高野康久氏／エグゼクティブ・アドバイザー 小川慶幸氏 インタビュー

就労支援の「人」

経済学者／慶應義塾大学 商学部 教授 中島隆信先生

いこう!就労移行支援事業所へ

“自分が大好きな自分”になれる場所—シャローム(所沢・和光・浦和)

第2回折り句コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

何よりも大切なことは“継続”と“チャレンジ” サステナブルな 障がい者雇用を目指して

マンパワーグループ(株)特例子会社 ジョブサポートパワー株式会社

代表取締役社長
高野康久氏

エグゼクティブ・アドバイザー
小川慶幸氏

インタビュー

世界75カ国に約2200のオフィスを持ち、ワールドワイドに展開している人材サービスのグローバルカンパニー「マンパワーグループ」。その日本法人であり、55年を超える歴史を持つ日本で最初の人材派遣会社、マンパワーグループ株式会社。この特例子会社であるジョブサポートパワー株式会社（以下JSP）には、SDGsの推進によって全世界的な目標として掲げられている「サステナブルな社会づくり」の、いわば「障がい者就業バリエーション」と呼べる考え方と取り組みが存在している。「サステナブルな障がい者就労」とは、一体どのようなものなのか。このポイントにフォーカスしつつ、同社の取り組み内容について、高野康久代表取締役社長と小川慶幸エグゼクティブ・アドバイザー（前代表取締役）にお話を伺いました。

障がいのある方が実施している業務について教えてください。

2001年に設立し、2003年3月に特例子会社として認定された当社では、障がい者雇用において様々な取り組み

を行っています。一貫している方針があります。それは「障がい者の《継続的な》活躍の場をつくる」ということです。このポイントを基本に据えながらお話をいたします。

業務内容としては、親会社であるマンパワーグループ(株)の業務委託が全体の9割を占めており、各種バックオフィス業務や経理・財務業務を実施しています。加えて、昨年から新たな業務範囲拡大を模索する為、テレセールの業務にチャレンジしてらっている社員たちもいます。業務内容は、「ドアオープンコール」と言われる企業向けの新規開拓電話営業です。この業務は、社員の希望を叶える形で始まりました。障がい特性上、健常者同様の動きが難しいメンバーもいる為、どうしたら業務ができるか、様々なアイデアを試しながら行動し、成約獲得するなど成果に繋がり、親会社からも評価をいただきました。

私たちは、障がい者がどのような仕事ができるのかを常に考え、業務の幅を広げていかなければならないと考えています。社員に、いかに戦力として活躍してもらえかが大切なのです。また、その

■マンパワーグループ株式会社について■

- 業務内容：総合人材サービス全般
- 所在地：東京都港区芝浦三丁目1番1号 田町ステーションタワー N 30階
- 設立：1966年11月
- 従業員数：3,020人（子会社含む・2021年4月現在）
- 登録者数：63万2,700人（2021年4月現在）
- サービスネットワーク：全国144営業拠点（2021年4月現在）

<https://www.manpowergroup.jp/>

<取得認証>





■代表取締役社長■

高野 康久 Yasuhisa Takano

- ◆1998年：マンパワー・ジャパン株式会社（現マンパワーグループ株式会社）入社
- ◆2004年：多摩武蔵野統括部長 その後首都圏各エリア統括部長
- ◆2008年～2020年3月：執行役員首都圏南統括部長、執行役員首都圏各エリア統括部長
※1998年～2020年まで約22年営業部門にて部門責任者を歴任
- ◆2020年4月：執行役員コンプライアンス部長
- ◆2021年1月：ジョブサポートパワー株式会社に出向（執行役員リーガル＆コンプライアンス部長兼務）
- ◆2021年4月：代表取締役社長就任

■エグゼクティブ・アドバイザー■

小川 慶幸 Ogawa Yoshiyuki

- ◆1993年：マンパワー・ジャパン株式会社（現マンパワーグループ株式会社）入社
- ◆2005年：西日本地域本部長
- ◆2006年：マーケティング本部長
- ◆2007年：人材紹介本部長
※1993年～2007年まで、営業・マーケティング・新規事業立ち上げなど部門責任者を歴任
- ◆2008年4月：ジョブサポートパワー株式会社に出向、事業本部長
- ◆2015年1月：代表取締役就任
- ◆2021年4月～：エグゼクティブ・アドバイザー就任



※障害者雇用に従事して約13年

■受賞歴■

◆2020年◆

障害者雇用に関する優良事業主（もにす認定制度）
優良事業主に認定



◆2019年◆

令和元年度 東京ライフ・ワーク・バランス
認定企業に認定



障害者雇用エクセレントカンパニー賞
（東京都知事賞）を受賞

◆2016年◆

第16回テレワーク推進賞 奨励賞を受賞

◆2015年◆

平成27年度 テレワーク推進企業等
厚生労働大臣表彰（輝くテレワーク賞）
奨励賞を受賞

業務に従事して欲しい チャレンジの心を忘れずに

ための取り組みを推進していく中で、様々な表彰もいただくことができました。

社員の方が自ら活躍したくなる御社の社風について教えてください。

特例子会社と云えども、いつまでも親会社から仕事に豊富にやってくるという限りません。障がい者の雇用を持続するためには、自らできることを増やしていく必要があります。親会社の力も借りてチャレンジし続けていくことが必要だと思います。

当社においては、障がいのある社員に対して「何かしらの業務をしていてくれればそれで良い」と考えることはありません。障がいがあってもなくても、持てる力を発揮してチャレンジの心を忘れず、業務に従事して欲しいと考えています。それが本人の雇用にもつながりますし、そういった方がいる限り、障がい者雇用が無くなることはないでしょう。

これこそが「サステナブルな障がい者雇用（持続可能な障がい者雇用）」ではないかと思えます。そして、それを叶える体制や仕組みは、会社がつくっていかねばなりません。

御社で働く方の障がい属性と割合を教えてください。

当社では約7割の方がテレワークによる在宅勤務をしており、そのほとんどが身体重度障がいの方です。ただし、最近では、精神障がいの方が割合を伸ばしており、全社員の中では15%ほどにまでなっています。知的障がいの方はわずかです。

障がい種別で業務を切り分けるのではなく、個人個人ができること、チャレンジしたいことに取り組み会社で貢献していただいています。だから、当然身体障がいと精神障がいの方がオフィスでは機会を並べて同じ業務に従事する場合もあります。

なお、在宅業務とオフィス業務、それぞれの業務の切り分けも行っています。これをする「在宅のための仕事」を用意しなければならなくなってしまう。これでは、一時的には良いかもしれませんが、決して持続していかないと考えています。基本的に、オフィスでやっている仕事をそのまま在宅でできる仕組みをつくっていかねばなりません。したがって、例えば、請求書や契約書など紙ベースのものはオフィスでデータ加工して、在宅で処理をしています。



＜左＞高野康久代表取締役社長は、JSPにおいてこれからチャレンジしていきたいことなど、その展望を語ってくれました。



＜右＞小川エグゼクティブ・アドバイザーは、長年の経験から培った知見や障がい者雇用に対する思いを語ってくれました。

■JSPの業務内容■



◆本社業務◆

総合受付対応／会議室管理／財務事務
健康診断管理／講習予約手続き

❖マンパワーグループ(株) 支援業務❖

◆支店業務◆

派遣スタッフの福利厚生事務／派遣スタッフへのコール対応
専用システム登録対応／その他 営業支援

◆受託業務◆

定着支援コンサルティング／事務局対応／ヘルプデスク／データ入力
テープ起こし、文字起こし／調査情報収集／プログラム構築

❖その他業務❖

◆社内業務◆

労務管理／財務管理／在庫管理／人事管理採用、教育、研修
オフィス機器管理／書類の印刷、封入、発送

■業務上の配慮内容■

◆定期通院支援制度

→障がいに関係ある定期通院に要した時間を勤務時間とみなす（月2度まで）

◆「通勤勤務」から「在宅勤務」への切り替え

→障がいが増進、悪化した場合には、「通勤での勤務」から「在宅勤務」に変更することで、就労の維持・継続

◆フレックス休暇制度

→累積した残業時間との相殺により休暇が取得可能に（社員は有給休暇を使用せずに休暇取得）

❖障がい者の「働きたい」を可能にする支援体制❖



障がいのある方は、どうしても身体や心のメンテナンスに時間がかかる場合があります。したがって、日々安心して、安定した仕事をするためには互いをフォローし合えるようなチームワークが必要になってきます。「この仕事をいつまでにやっておいてください」「終わったら報告をしてください」といった任せきりにしてしまうようなスタンスでは、プレッシャーをかけてしまったり、精神的に追い込んでしまうこともあるでしょう。当社ではオフィスワークのみならず、在宅ワークであってもグループをつくっています。5〜10名を1つのグループとし、グループリーダーが日々の勤怠管理を行います。WEB会議システムを活用して朝礼や終礼を実施し、各メンバーがその日の体調やスケジュールなどを発信、共有することで、無理のない勤務体制を構築しています。

障がいのある方に対する配慮内容について教えてください。

障がい者個人のキャリア形成を応援したい

「トライスル事業部」について教えてください。

日々の業務をしっかりと遂行していくことが当社の最重要ミッションではありますが、「社会の中で障がい者が活躍できる場をつくっていくこと」も大きな社会的使命であると思っています。そこで設立したのが「トライスル事業部」です。ネーミングには「何事にも積極的に、意欲的に取り組んでいく、トライする」という意味を込めています。ここでは、同事業部で管轄している「キャリアアトランスファー」と「未来農園」について紹介します。

◆キャリアアトランスファー

当然のことながら、障がい者にとってもキャリア形成・キャリア開発は必要であり、当社社員にも意識して欲しい。そうした時に、「当社における業務だけで十分なキャリアが形成できるのだろうか？決して、そうではない社員もいるだろう」と疑問を感じたので

す。ある方向性でキャリア形成をしていきたい社員がいたとしても、会社側が十分な環境を提供することができない場合もあるでしょう。その問題を解決するために創設されたのが「キャリアアトランスファー」の制度です。

これは、仮に当社業務において力を付けて、今後はよりキャリアアップしていきたい社員がいたとします。一方で、その専門分野に強い企業が即戦力社員を募集している場合に、この両者をマッチングさせるといったものです。優秀な人材は社外に出したくないというのが当然の企業心理だと思いますが、私たちはそれ以上に、障がい者個人のキャリアアップを応援していきたい。これはもちろん、本人の希望があつてのものであり、強制的なものではありませんが、ぜひ、社員の方々は当社で力を蓄え、キャリアアップしていくという進路も検討してもらいたいですね。

ご自身の障がいに向き合える方に、是非来ていただきたい

農園での就業だけではなく、障がい者の方々に積極的なキャリアステップを歩んでいただけるよう色々なアドバイスをしたいと思っています。パートナー企業では、現在栽培したものを流通するルートを持っており、収穫した作物はパートナー企業が買い上げる仕組みも考えています。



2022年5月より、新たな取り組みとしてパートナー企業と共に屋内型農園を利用した障がい者雇用支援サービスを立ち上げる予定です。これは、特に精神障がい者の雇用を広げるためのものであり、岡山県倉敷市にある全天候型室内施設の農園にてエディブルフラワー（食べられるお花）やレタス類等を栽培・収穫していただきます。SDGsやコロナのようない外的要因にもしっかりと配慮した持続可能な働きやすい施設です。当社の社員も就業予定ですが、他の企業様にもリモートワークの一形態として農園を障がい者雇用の場としてご提供します。

まずは、引き続きサステナブルな障がい者雇用のために「適材適所（人ありき）」でなく「適所適材（業務ありき）」の方針を維持していく必要があります。社員には、ぜひとも会社に貢献する形での活躍を期待してまいります。そして、5年後10年後、自分がどのような武器を持っていたのかを考えながら、キャリアアップしていただきたいと思います。

御社の今後のビジョンについて教えてください。

採用については、社会的な状況から考えても、精神障がいの方が増えていくでしょう。そうすると、当社の従来のノウハウだけでは十分でないと思うので、今まで以上に就労移行支援事業所との関係を深め、サポートを受けながら、これを推進していきたいと思っています。当社にとっても大きなチャレンジとなることでしょう。

では、当社としてはどのような方を求めているのか。それは「ご自身の障がいを受容している方」です。障がいと向き合いながら業務を遂行していく方を、ぜひ応援させていただきたいと思っています。

新しい方とお会いさせていただく多くのケースで、推奨状にはその方の良い点が書かれています。しかし、私たちは、苦手な点や何を課題としているかを教えて欲しいと考えています。どのような配慮が必要かを知っておかなければうまくいかないケースが多いですからね。苦手な点を踏まえ、「一緒に働く仲間のために何ができるのか」を考える視点を持っていたいただきたいのです。

ジョブサポートパワー(JSP)× 社会福祉支援研究機構(SSO)＜連携のご案内＞



2022年3月現在、上図のようなJSPとSSOとの連携体制があり、在宅勤務希望者の方への就職先紹介や就労のためのスキルアップ訓練が実施されています。興味のある方は、ぜひ利用されている就労移行支援事業所（SSO 加盟）の支援員までお声かけください。

＜参考＞訓練プログラム

(1) 基礎研修

- ・メール・チャットビジネスマナー研修
- ・P 検定対策（3級以上）
- ・Teams 利用方法の習得
- (a) チャットで意思疎通が図れる
- (b) コール機能で意思疎通が図れる

(2) 特別研修（希望者のみ）

- ・オンライン講座（1日研修／体験）
- ・自己診断テスト（キャリアハーモニー）

ジョブサポートパワー株式会社



- ❖ 所在：＜本社＞東京都立川市曙町 2-34-7 ファーレイーストビル 8 階
- ❖ 設立：2001 年 1 月 / 特例子会社認定：2003 年 3 月
- ❖ 株主：マンパワーグループ株式会社（100% 出資）
- ❖ 従業員数：155 名（内 障がい者 148 名）※2021 年 4 月現在
- ❖ 取得認証：



<https://www.mpg-jsp.com/>





いこう！就労移行支援事業所へ！



取材をしたこのタイミングは、利用者の個別訓練の時間。各自、支援員からアドバイスも受け、イキイキとした表情で自分自身の未来と向き合っていた。



いつもにこやかな笑顔で、利用者さんをずっと勇気づけてくれるシャロームの支援員の皆さん。

<今回お伺いした事業所>



シャローム
所沢・和光・浦和

“自分が大好きな自分”になれる場所

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこにはやはり事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは、実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

「自分らしさ」を強さに

埼玉県所沢市、和光市、さいたま市浦和区の3拠点にて展開するシャローム。今回は、シャローム所沢に伺ったが、この事業所は、何よりも利用者の「自分らしさ」「得意なこと」に目を向け、それを未来に向かう原動力として具現化するための支援をしてくれる場所だった。

「シャロームでは、自分を深く見つめ、自分の強みを活かした自分らしい働き方を探り、その実現に向けた様々な就労サポートをおこなっています。お一人おひとりのなりたい自分、やりたいこと、手に入れた未来に向かっていくために、その方に必要な支援を考え、オーダーメイドのプログラムを進めております。必要なことを、必要分だけ、無理のないペースでご本人と話し合い、希望に向かっていくプログラムと一緒に考えていくのがシャローム流です」(最上千都シャローム所沢施設長)

利用者さん自身が気が付いていなかった「素敵な自分」に出会うためのワークが豊富に用意されており、不調を少しずつゆっくり改善していくセルフケアワ



シャローム所沢・和光・浦和統括、シャローム所沢施設長・サービス管理責任者の最上千都さん。

ク／心と身体を整える元氣回復ワーク／自分や他者の良さを見つめる分析発見ワーク／捉え方・考え方を素敵に転換していくリフレーミングワーク／自分の強みを強化するワーク／自分の強みを他者と分け合い、自分の良さを活かすワークなどがある。

「他者とのつながり」を生きる楽しさに

自分自身の再発見の次は、他者の再発見だ。

「コミュニケーションもとても大事にしています。良好なコミュニケーションに包まれた日々は、生きる楽しさと明日への希望を創り出すからです。これがなければ働くことへの意欲も力も湧きません。そのため、人と良好に関われるようになるためのワークやイベント、その良さや大切さを感じて頂ける機会や場を沢山持っています。それはスタッフ発信のものだけでなく、利用者さん発信のものも多く、サークル活動も活発です」(同)

利用者発信のサークルは、英語、手話、ギター、お茶、運動部、ゲームなどがあり、楽しいコミュニケーションの輪が広がっているという。

「素敵な人生」をつくる場でありたい

「シャロームには、新しく卒業され

事業所お問合せ先情報

●シャローム所沢

埼玉県所沢市くすのき台 3-18-44F

TEL : 050-6865-3013

●シャローム和光

埼玉県和光市丸山台 1-10-6-7F

TEL : 050-6865-6816

●シャローム浦和

埼玉県さいたま市浦和区高砂

2-6-18 303 号室

TEL : 050-6865-6987



就労実績も抜群。全国トップレベルであり、面談室には実績への表彰状などが並ぶ。

た方はもちろんのこと、何年も前に卒業された方も遊びに来てくださったりご連絡をくださったりします。卒業生同士が繋がり、良き友としても繋がっておられる方が多くいらっしゃると思います。就労移行は、就職を含めた次の場所に進むための通り道です。しかし、こうして遊びに来てくださったりご連絡をくださることで、いつまでも繋がっていられる場所でもあるのです。たどり着く場所ではありませんが、私たちは、利用者さんや卒業生、これまでご縁あったこの場でお会いした全ての方々にとっての(いつでも立ち寄れる温かい場所)としていつまでも存在していられたいと思っています」(同)

自分と他者の素敵さに目を向ける習慣のついた利用者さんは、もはや人生を楽しむ達人になっているのかもしれない。卒業生が、かつての仲間である友人と懐かしそうに、そして楽しそうにシャロームを訪れる姿が浮かんでくる。



わたしたち！就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

本当のあなたでいられる場所

ファシリカ高崎駅前（群馬県）



群馬県高崎市東町 70
イースト 70 ビル 5F

◆TEL
027-386-8983
◆E-MAIL
info@facilica.org

<http://facilica.org>

これが事業所の名物ワーク！

「クイズイベント」&「調理ワーク」

スタッフではなく利用者様の主催・主導で行っていただきます。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

だれしも、一歩踏み出すまではとても不安なものです。なにも準備はいりません。心構えもいりません。必要なのは、いまを何とか乗り越えたいという気持ちだけです。あなたのこれからの人生をもっと楽しいものに、未来と一緒に作りましょう。

人の可能性を信じ、夢と笑顔と愛情をもって
あなたの「なりたい！」をサポートします。

アポーヨ富士（静岡県）



静岡県富士市本市場町
828TAS ビル 4F

◆TEL
0545-65-6821
◆E-MAIL
info@apoyo.co.jp

<http://www.apoyo.co.jp>

これが事業所の名物ワーク！

「手芸倶楽部」

「おはぎとウォーキング」

非常勤職員チワワのおはぎとのんびりお散歩

「元パティシエによるスイーツ講座」



障がいをお持ちの方へのメッセージ

「アポーヨ」はスペイン語で支える、サポートするという意味です。私たちは全力であなたを支えます。一人で何でもできることが「自立」ではなく、人の力を借りたり、助けてと言える人。そしてセルフコントロールができる人「自律」を目指します。人とのつながりの中で一歩ずつ前進するあなたを支えます。「さあ、アポーヨへおいでよ！！」

「あなたの居場所がある」「あなたの役割がある」をサポートします

コリード甲府（山梨県）



山梨県甲府市国母 7-5-17
サンライン甲府ビル 5F

◆TEL
055-288-0370
◆E-MAIL
info@colead-kofu.com

<http://colead-kofu.com/>

これが事業所の名物ワーク！

ポケモン GO でウォーキング

何気ない運動に楽しさをシェアできるように取り組んでいます！



障がいをお持ちの方へのメッセージ

コリード甲府は画一的なプログラムではなく一人ひとりのプログラムにこだわります。小さな目標を一歩ずつ乗り越えながら、一つずつ達成していくことで「不安」を「自信」に変えてほしい。今よりも「もっとできる」を感じてほしい。これがコリード甲府の支援です。

ひとりひとりの想いを就職に乗せます

LIIMO 南森町（大阪府）



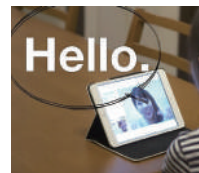
大阪府北区天神橋 2-5-16
星合ビル 4F

◆TEL
06-6809-1640
◆E-MAIL
liimo-m.m.m@helen.ocn.ne.jp

<https://liimo.lemonkai.social/minamimorimachi/>

これが事業所の名物ワーク！

英会話や中国語のネイティブと
会話を楽しめる



障がいをお持ちの方へのメッセージ

私たちは、引きこもっていた期間や前職からのブランクが長くても、一人一人の希望に完全に寄り添い希望通りの就職をとことん追求し支援しています。就職後も最長 3 年 6 か月、安心して働き続けられるように寄り添い応援し続けています。安心してご相談ください。

第2回折り句コンテスト結果発表 Oriku Contest

前号で募集をしました第2回折り句コンテストへのご応募、誠に有難うございました。
ここでは、皆さまの素晴らしい作品の中から、優秀作品5作品を表彰いたします。

折り句コンテスト開催団体



一般社団法人社会福祉支援研究機構

＜協賛＞



日本折り句協会

<http://www.orioku.or.jp/>

折り句作家 MIKAKO 賞



『ありがとう』

みうさん

(パレット大曾根／愛知県)

＜表彰の言葉＞

うさちゃんの可愛い紙を使ってスタッフの方への気持ちがとても上手に表現されていて、ほっこりとした気持ちになりました。最後の『ずっとと忘れません』という口語表現の中に、気持ちがこもっているのを感じました。

※当誌の題字（タイトル）も書いてくれている、折り句作家 MIKAKOさんについては P12 をご覧ください。

社会福祉支援研究機構 理事長賞

『おかえり』



＜表彰の言葉＞『おかえり』という短いまぐら（頭文字）の中に、家族へのいつばいの愛が詰まっていて、落ち込んでいても帰る場所がある安心感や温かさを感じる折り句でした。今の時代だからこそこの『おかえり』を大事にしたいと思いました。

ゆうこさん（エール近鉄八尾西口／大阪府）

『ともだち』



＜表彰の言葉＞大切な『ともだち』を思い出すことができるような優しい折り句でした。言葉の一つ一つが前向きで幸せな気持ちになりました。ぜひお友達に贈ってあげていただきたいです。

MAYさん（リセル布施／大阪府）

テキストデータ部門賞

『まいにち』

YS さん（テイクハート金町／東京都）

まいにちが

いつも

にここにできたら

ちがった世界が見えるかな？



〈表彰の言葉〉周りの世界は同じでも、見方が変わればガラッと変わるものです。「にここに」しながら見たら、世界も「にここに」になってきますよ。例えば、高い声を出そうとしたら、高い声が出るのと一緒にではないでしょうか。とても元気になれる句です。

『ちしき』

岩倉一真さん（アポーヨ柿田川／静岡県）

ちいさなことから

おおきなことまで

しりょ深くありたいと

思うのなら

きっとこれが

役に立つ



〈表彰の言葉〉そうなんですよね、上手に生きていくには、やっぱり知識が必要です。知識があれば落ち着いて考えることができ、「あんなことするんじゃないかなあ」とか、後になって後悔することも少なくなりますものね。人生訓に満ちた良い句です。

第2回『イコウ！春の写真コンテスト』のご案内

日頃通っている事業所やあなたのお住いの街の一コマを全国の方々に写真で紹介してみませんか？

❖テーマ

あなたの通う事業所のある街の一コマ～ココロがときめいた身の回り被写体を切り取ってみてください～

❖募集部門

- ①スマートフォン（スマートフォン、タブレット）部門
- ②デジタルカメラ（一眼レフカメラ、コンパクトカメラ等）部門

❖賞および賞品

●審査委員長賞（各部門1名） ポイント

●社会福祉支援研究機構 理事長賞（各部門1名）

※受賞作品に審査委員長からのコメントを添えて、額に入れて進呈いたします。

❖募集期間

2022年3月1日（火）～2022年5月14日（土）16時

❖応募方法

作品に作品名と氏名（ペンネーム可）を添えて、ご契約の就労移行支援事業所（社会福祉支援研究機構加盟）にご提出ください。

※本誌に掲載させていただく場合は、事前にご連絡いたします。

❖結果発表

イコウ次号＜2022年夏号＞の誌面にて受賞者を発表いたします。

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構



＜イベントのご案内＞

※スマホでも一眼レフカメラでも参加可

審査委員長・熊切大輔先生による
「スマホやカメラで楽しむ！写真ポイント講座」

2022年5月4日（水・祝）13:00～13:50

実施方法：ZOOM（ウェビナー使用）

講師：熊切大輔先生

（公益社団法人日本写真家協会（JPS）理事）

※詳細は事業所内掲示のご案内等でご確認ください。



昨年度開催のコンテスト
審査委員長賞

春の野川の鉄橋を渡る
京王5000系電車

マーシーさん
（LIIMO 調布／東京都）

Person of employment support

就労支援の人

障害者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

Profile

神奈川県出身。経済学者、慶應義塾大学商学部教授。現在に至るまで総務省郵政研究所特別研究官、財務省財務総合政策研究所特別研究官、日本相撲協会「ガバナンスの整備に関する独立委員会」委員、「東京都障害者差別解消支援地域協議会」委員など、様々な要職に就く。主に経済学に関する多くの著作があり、『障害者の経済学』では日経経済図書文化賞（日本経済新聞社、日本経済研究センター）を受賞。

経済学者 / 慶應義塾大学 商学部 教授

中島隆信先生 Takanobu Nakajima

慶應義塾大学における担当科目

経済学基礎 / ミクロ経済学 / 障害者雇用の現状と将来 / ビジネスエコノミー

●中島隆信先生 WEB サイト：<http://www.nakajima-ri.net/>

「冷静な分析」が好きだった少年期
私の初期の著作に『大相撲の経済学』※1があります。本書は、思い

起せば中学・高校生の時に愛読していた月刊『大相撲』（発行・読売新聞社）からの影響を受けている気がします。この雑誌は非常に分析的な内容であり、力士や取り組みの紹介だけでなく、「部屋」の制度などについてもしっかりと調査して記事が書かれていたのです。また、近年では『笑い』の解剖※2という著作もありますが、これも中学生の時に読んでいた古典落語の本の影響があると思います。少年期から物事を一歩離れたところから分析的に、客観的に見るのが好きだったのかもしれない。一般的にもその頃の記憶は印象深く残るとも言われますし、私にとっても、今にに影響を与え続けているのでしよう。

『障害者の経済学』を執筆

大学以降は本格的に経済学を学び、母校である慶應義塾大学にて教鞭をとるようにもなりました。そして先述の『大相撲の経済学』や『お寺の経済学』※3を執筆し、その後『障害者の経済学』を発表しました。この著書については、自身が障害者を持つ子の親として、半分は当事者としての立場で書きました。私は執筆においてまずは興味のある、または関わりのあるものを探求していくというスタイルをとるのですが、本書では障害者就労について多くの学びや気づきがありました。

※1…『大相撲の経済学』（東洋経済新報社 2003年・ちくま文庫 2008年） ※2…『『笑い』の解剖』（慶應義塾大学出版会 2019年）

障害者雇用を組織変革のきっかけにする

テレワークに対して思うこと

コロナ禍中の障害者就労においては、やはりテレワークが大きなキーワードになります。これは、一般的に言えば「場所や時間に囚われることなく働くための手法」です。「毎日通勤しなくても良い」ということは障害者就労とマッチする点も多いのですが、ただ働く場所を変えるだけではうまくいきません。「どのような仕事をテレワークと結び付けるのか」を検討すると共に「テレワークならではの配慮」もしていかなければならないでしょう。ただ、地方圏は障害者の行う仕事が少ないため、都市圏の仕事がテレワークにおいて実施できるようにするということに対しては、大きな期待を寄せたいところです。

就労移行支援事業所に期待すること

私が就労移行支援事業所に期待したいことは大きく分けて二つあります。一つは就労先の企業に「障害者の持つ可能性を示す」ということです。一人ひとりの障害特性や能力と企業の業務内容を把握した上で、「あんなことも、こんなこともできる」と提案をして頂きたいのです。二つ目は精神、発達障害者の就労継続ノウハウを蓄積し、長く定着してもらうためのコンサルティングを障害者と企業の双方に行って頂きたいと思っています。また、最近では障害者就労の場を第三者である民間企業が提供す

※3…『お寺の経済学』（東洋経済新報社 2005年・ちくま文庫 2010年）

障害者雇用のあるべき姿とは

企業は障がい者雇用において「時間軸の発想を持つべきだと思います。取り組みを始めて1・2年の間は短期的視野にて「法定雇用率を達成する」ために、5年・10年目は中期的視野にて「障害者を収益面から考えて戦力にする」ために、10年目以降は長期的視野にて「障害者雇用を組織変革のきっかけにする」という目標を掲げるのです。

「障害者と障害者雇用から学ぶ」という姿勢が組織全体の変革を可能にすると思います。障害者には配慮が必要と言われますが、健常者を含め全社員に配慮は必要です。障害者への配慮の姿勢を一般社員にも適用すれば、企業全体の働きやすさも変わっていくはずです。ポイントは「障害者雇用の成果が配慮のコストを上回る」ということなのですが、配慮のコストを下げることはできません。日本社会が「全体最適の意識」を持つことも、その大きな一助となるのです。



＜新版＞
障害者の経済学
紹介ページ





最新の取り組みのご報告

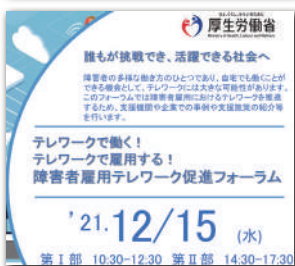
当機構のテレワークに関する取り組みを日本全国に発信

令和3年度障害者雇用テレワーク促進フォーラムに 当機構佐野理事長が登壇

令和3年12月15日、東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催されました「厚生労働省主催 令和3年度障害者雇用テレワーク促進フォーラム」に、スピーカーとして佐野理事長が登壇しました。当日の講演はyoutubeでライブ配信され1000名以上の方が視聴されました。

佐野理事長からは、支援機関の立場からテレワーク雇用されるための訓練の内容や、実際に雇用された具体的な事例が紹介されました。

《当フォーラム URL》
<https://tele-forum.com/>



今井絵理子議員からも力強いメッセージ

当機構の第7期総会& 厚労省 就労支援専門官 大工智彦様ご講演

令和4年1月21日、当機構の第7期総会を開催しました。本年も新型コロナウイルスの影響によりZOOMにて全国の法人・事業所をつなぎ実施しました。

総会に続き、厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 就労支援専門官 大工 智彦様より、『就労移行支援事業所の現状と今後』という演題で基調講演を行って頂きました。

また、自民党 参議院国会对策委員会 副委員長の今井絵理子議員も、当機構の取り組みに対する激励のため、会場を訪れてくださいました。

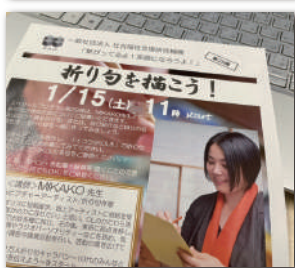


当機構全体が折り句を通してつながった

スペシャルプログラム「繋がっているよ!笑顔になろうよ!」 第28弾『折り句講座』を開催しました

令和4年1月15日、「繋がっているよ!笑顔になろうよ!」の第28弾として『折り句講座』を開催し、約700名の方々にご参加いただきました。講座では、今号にて結果発表をおこなった「第2回折り句コンテスト」の事前講習として、折り句の基本的な考え方や書き方を講師のMIKAKOさんから教えていただきました。

イラストとともに描けば絵画作品、文字として書けば書道作品、写真の上に文字を載せれば写真作品になるなど、本当に多くの可能性と表現力のある折り句。次回もぜひご参加ください。



ますます広がり続ける支援の輪

当機構加盟事業所は

72事業所

<2022年3月1日現在>

一般社団法人 社会福祉支援研究機構
加盟就労移行支援事業所 (全国 72 事業所)
今後も日本各地で開所・加盟が
予定されています。

全国に
応援の輪が
広がって
います!



社会福祉支援研究機構スペシャルプログラム「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」では、コロナ禍中、ビデオ会議システムZOOMを活用して全国各地の就労移行支援事業所だけではなく、在宅訓練をされている利用者さんとも繋がり、様々なイベントを行っています。

❖題字の作者



MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可）／イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず）／川柳／俳句／短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

① 一人でも多くの“一般就労”を実現

② 最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③ “一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和3年3月31日時点

1,661名就職

資格合格実績累計

令和3年6月30日時点

6,425名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルカリエス検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

